



「三本の矢」の強さ

～温もりに満ちた学校へ～



校長室だより 12月号
2024.12.20
＜不撓不屈の芦中生＞
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動



今年もあと・・・

12月に入り、「今年もあと・・・」という言葉が様々なメディアを通して聞かれる時期になりました。学校にとっての「今年」は、令和6年のことでもあり、もう一つ、令和6年度のことでもあります。暦の上の1年と、学校としての1年ですね。みなさんはどちらを思い浮かべますか？

2学期も来週で終わりです。まさに、令和6年の学校生活も

今日を含めて「あと3日」となった訳です。みなさんの令和6年はどんな年でしたか？1年前の自分



と今の自分を比べてみてください。3年生は、1年前に今の進路に向かって頑張っている自分の姿をイメージしていましたか？2年生は、先輩となって、さらにもうすぐ最上級生になろうとしている自分を想像できましたか？1年生は1年前は小学生でした。中学生として、先輩になろうとしている自分の姿は想像もつかなかったのではないのでしょうか。

中学生としての成長



中学校での1年は、とても大切な時間です。中学生の時期は、身体が成長するだけでなく、人として本当に大きく成長する時期です。そして、その成長の速さ

は、小学生の時とは比べものにならないほどのスピードです。今までは「こども」の考え方しかできなかったのが、中学校3年間で物事の見方や考え方が一気に「おとな」に近づいていくのです。まさに急成長です。みなさんも、1年生と3年生の考え方や行動には、差があると思いませんか？



成長するチャンスを逃さない

みなさんは中学校で、毎日、難しい勉強をしたり、学校行事を自分たちで創り上げたり、よりよい学校生活を送るためにどうすればよいかを自分たちで考えたりしています。そして、友達のことを思いやったり、大変なことを支え合って乗り越えたりしています。そうすることで、自分だけでなく、仲間とともに頑張ることの大切さ、人として大切なことを身につけているのです。それが、心と身体の成長する時期と重なって、一気に大人の感覚が育っていくのです。だから、



取り残されないようにしてください。周りは急速に成長していきます。自分だけ幼いままだと、気がつけば周りに誰もいなくなります。力を合わせて、成長するチャンスを逃さないようにしましょう。

令和6年だけでなく、令和6年度もあと少しです。3学期は次の学年の0学期。いいスタートが切れるように、よい年末年始を過ごしてください。

